

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

自公の政権合意 国民は認めない

自民・公明両党の連立政権合意は、「決して驕(おご)ることなく、真摯(しんしん)な政治を貫くことよって、国民の本當の信頼を取り戻さなくてはならない」としています。

しかし、その内容は、貧困と格差を広げた「構造改革」を復活させたうえに、原発や環太平洋連携協定(TPP)、消費税、憲法など、どの分野でも国民要求に真つ向から逆らうもの。とても「国民の信頼を取り戻す」中身とはいえません。

たとえば、小泉政権下で財界が主導した「経済財政諮問会議」を再び景気・経済対策の「司令塔」にすえ、「構造改革」路線の復活を狙っていることです。合意は、2%というインフレ目標を設定し、「大胆な金融緩和を断行」するといいますが、物価高だけが先行し賃金が上がらなければ国民生活はいっそう厳しい

「構造改革」復活と 改憲路線

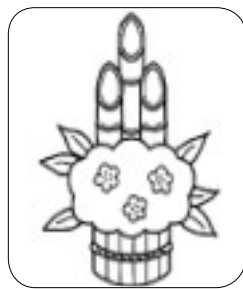
新年明けましておめでとうございます。
昨年、若者の劣悪な実態と声を工O(世界労働機関)に届けるなど、青年の願いにこたえる活動に力いっぱいとりくんできました。また、年末には県議補選で、みなさんから大きなお力添えをいただきました。本当にありがとうございました。

私が去年の夏から仲間と一緒に呼びかけ、毎週参加している原発ゼロを求めるデモには、いつも初参加の方がおられ、運動を続けることが原発ゼロの日本を実現すると確信しています。

憲法とくらしを守り、若い世代が希望をもてる政治を実現するために、全力でがんばります。夏の参院選で何としても日本共



産党の躍進をかちとる決意です。大きなご支援をお願いいたします。
参院奈良選挙区
谷川かずひろ



事態に追い込まれます。日本経団連は定期昇給の見直しにさえ踏み込む構えです。

そのうえ、「構造改革」路線で社会保障はいっそう切り捨てられることになりま。社会保障解体に向けた「国民会議」の議論を促進し、なかでも生活保護の「不正受給」を口実に切り下げを狙っています。

「原発ゼロ」排除

原発・エネルギー政策では「可能な限り原発依存度を減らす」とし「原発ゼロ」の表現を排除。自民党の安倍晋三総裁は、原発の新增設さえ検討すると繰り返しています。

総選挙で「原発ゼロ」を公約に掲げた公明党は「任期4年間で『原発ゼロ』はとも無理な話だ。『原発依存度を減らす』というのは自公とも共通」(石井啓一政調会長)と弁明してみせませんが、まったく理屈がたちません。

TPP前のめり

TPPでは「国益にかなう最善の道を求める」と、交渉参加へとより踏み込んだ表現を使っています。

自民党は総選挙公約で、「『聖域なき関税撤廃』を前提とする限り反対」と主張。総選挙では「断固反対」「断固阻止」と公約する県連もありましたが、選挙後は「前提条件になんらかの変更が加えられるならば、国益にかなう道が開ける」(自民・甘利明政調会長)と参加に前のめりです。

改憲論議「促進」

重大なのは、政権合意としてはじめて憲法論議の「促進」を明記したことです。改憲原案の審査権限をもつ衆参両院の憲法審査会の審議を「促進」と明記。改憲に向け「国民的な議論を深める」とするなど改憲姿勢を明確にしています。

自公の政権合意は、経済でも、憲法でも、2007年の参院選と09年総選挙で有権者が一度全否定した自公の悪政をさらに「グレードアップ」して再起動させるものにほかなりません。

東日本地震・12号台風への
救援募金にご協力を

【郵便振替口座】
00170017198422
名義は、日本共産党中央委員会です。
送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、「地震救援募金」である事の明記を。
磯城郡日本共産党議員団

自民党は、今回の総選挙で有権者全体に対する得票率でいえば、小選挙区で24.64%、比例代表で15.99%しか得ていません。民意をかけ離れた虚構の多数で、国民の願いにそむく悪政を断行することは許されません。
2012年12月26日(水)

株高の仕掛け人は海外投資 アベノミクスの虚構

株高が日経平均で1万円を超えました。が、押し上げているのは海外の投機筋です。安倍晋三自民党総裁が主張する「大胆な金融緩和」は、国民に何の利益ももたらしていません。

東京証券取引所が毎週末とめている「投資部門別株式売買状況」を見ると、1月第2週以降、海外投資家だけが株を大きく買い越し、買った株が売った株を上回っています。国内の法人、個人が売り越した分を海外投資家が埋めている状況です。

安倍氏は「政策を発表しただけで株は上がり、円が下がった」と自画自賛しましたが、もうけたのはもっぱら海外の投機筋だけ、決して景気がよくなって株価が上がっているわけではありません。まして、雇用や生産など実体経済は何もよくなっていません。市場関係者はこの間、株価を押し上げたのが海外のヘッジファンドだとみています。

国内経済には今後、景気をよくするどころか、雇用や中小企業に悪影響を与える材料が目白押しです。2009年12月に施行された中小企業金融円滑化法は13年3月末で終了します。銀行に返済条件の見直しなどを促し、リーマン・ショック後、中小企業の倒産抑制に役立ってきた法律です。電機産業をはじめとするリストラは、今後いっそう激しさを増すとみられます。

「アベノミクス」で押し上げた株価は虚構でしかありません。今求められるのは賃上げや中小企業への支援です。
2012年12月28日



今年を振り返って

二〇一二年も後一日で終わりという日、私は本屋に行つて来年の家計簿を買つてきました。

迷わず毎年、同じ物を買います。慣れた物は使

い易い上に一日の收支の下に、その日の事を書く欄があるのでとても便利

の事です。毎日メモ程度みると一年間の生活や行

動が思い出されます。今年

は友人と深く付き合うこと

で、新しい人との出会いがあり、意外な展

開になったような気がします。自ら一歩を踏み出すと新しい世界が広がる

と実感した年でした。健康面では四月、喘息を発症した事と七月、白

内障の手術をしたこと以外、病氣らしい病気をせずに過ごせた事は有難く

思います。人は年々、老

いていく事はどうにも出来ない事実。でもそれは悪い事でも、恥じる事でもなく自然な事です。

そこで私は、少しでも老化を遅らせる為に身体を動かし、脳を使う努力をしないと・・・と思い、

来年はなるべく歩くこと、そして家計簿のメモだけ

で済まらず、毎日日記をつける事を決意しました。

三日坊主にならないよう、頑張ること

をここに誓います！

田原本町議会議員
森 良子



新年明けましておめでとーございま

す 昨年は、「消費税増税に頼らない別の道があり

ます」と訴え、「消費税増税が景気を悪化させる」という経済関係者の常識

をたくさんの方々に訴えました。

総選挙の結果は、「インフレーターゲット」とい

うお金をばら撒く自民党が大勝しました。お金を

いくらばらまいても景気は良くなるに残念

です。町政では、全く根拠のない下水道使用料の値上

げ、外部委託で町職員の官僚化が進んでいます。住民の声が、町にも国に

もなかなか届かないもどかしさを感じます。年が

改まって、みなさんの声をもつと行政に届けるた

めにみなさんと一緒に頑張ります。

昨年図書館で手にした有島武郎の「小さき者へ」

の最後の言葉を紹介します。「小さき者よ。不幸

なそして同時に幸福なおもえたちの父と母との祝福を胸にしめて、人の世

の旅にのぼれ。前途は遠い。そして暗い。しかしおそれてはならぬ。おそれない者のまえに道はひ

らける。行け。いさんで。小さき者よ。」

田原本町議会議員
吉田容工



新年あけましておめでとーございま

す。 昨年は、総選挙で民主党野田政権に代わつて自

民・公明の安倍政権に代わりました。新年度予算

の編成作業が国でも地方自治体でも行われていま

すが、自民・公明政権の予算方針が明らかになっ

ていない今、今までの民主党政権の下で行われて

きた方針を踏襲するしか方法はないと自治体職員

は言っています。安倍政権は、小泉内閣

が行ってきた手法をさらに推し進めようと財界主

導の「経済財政諮問会議」を復活させようとしてい

ます。いま、政権政党が行うべきは、国民の懐を肥し、

国内の購買力を高めることとであります。大企業の

内部留保200兆円以上あると言われています。

この内部留保を数パーセント取り崩せば、大企業

に働く労働者の賃金を引き上げ、中小企業の製品

単価を引き上げ、中小企業の労働者の賃金も引き

上げられるように政府が大企業に対して規制をかける

ことが必要ではないでしょうか。

そうしてこそ、国民の購買力を高め、デフレを

解消することが出来ます。働く労働者に「夢」を持

たせる政策を打ち出せられるのが自民・公明政権の今後の課題ではない

でしょうか。三宅町 池田年夫



頌春

皆さんにとって、実り多き年となるようご祈念申し上げます。

昨年の総選挙では、再び自民党を中心とする政

権に変わりましたが、原発の再稼働も、TPPへの

参加も、消費税の引き上げも、争点の問題は

どれも推進する意向です。これでは、景気の

回復と暮らしの安定を願う皆さんの思惑とは相当

の開きが有ると言わざるを得ません。

2013年はどうなつて行くんでしょう。新政

権の意向では、肝心の景気回復を始め、先を見通

せる明るい兆しは感じられそうに有りませんので、

何とも厳しい年になりそうです。うですが、憂いばかりも居られません。これま

で以上に、皆で要求を積み上げ、世論と運動を展開して行かんとあきませ

んね。 川西町の取り組みも、皆さんの意を汲み取り、

願いに応える施策の充実へと一層力を注がねば

りません。試み中のコミバスも種類と方法を精査

して、移動手段を欠く皆さんの真の支えとせな

きませんし、地域経済の活性化に役立つ住モリフォー

ム制度や太陽光発電など、自然エネルギーの普及と

促進も兼ねた経済対策が必要

です。 実りある町政に向け頑張ります。どうぞ皆さん。今年もよろしくお願

い申し上げます。 川西町議会議員

芝 和也

